

阪口 芳弘 議長 殿

令和7年6月24日

視 察 報 告 書

公明党議員団 谷口 美保子

堺谷 裕

十条銀座商店街視察

日時 6月3日（火）午後4時～午後5時半

場所 東京都北区十条銀座商店街

東京都北区の十条銀座商店街振興組合の方にお会いし、まずマスクミにもよく取り上げられている運営等についてお話を聴く。

東京都北区にある商店街。中心となるのは十条駅前広場から北上する商店街で終点では道一つ隔てて十条富士見銀座商店街につながる昭和52年から54年にかけてアーケードが整備され、約200軒の商店で形成されている北区では最大規模の商店街である。色々な工夫をしている

- (1) 季節の定番売り出しで年配者から子育てファミリーまで集客
- (2) 台紙にシールを貼る伝統的スタンプ事業で買って集める楽しさ
- (3) 北区役所と連携して買い物不便地域への出張商店街

(4) 訪れてくれる方たちに休憩と買い物情報と楽しさを提供するお休み処を設置

(5) 組合のメリットを発信する共同配送と段ボールのリサイクル

(6) 社会福祉協議会と連携した車椅子貸し出しと子ども食堂

多くの事を商店振興組合として行っている。

組合から採用されている職員により運営事務を行っている。

以上のお話を聴かせて頂きました。

【感想】 あいにくの火曜日ということでお休みのお店も多くありましたが、昔ながらの商店街で特にお総菜屋さんが多くみられ東京ということを忘れさせるような値段設定に驚きました。雨でしたがやはりアーケードは良いもので買い物のしやすさを感じました。貝塚市には、このように大きな商店街は難しいとは考えますが、昔ながらの商店街の良さを取り入れた商店街の復活に挑戦することも、これからの貝塚市の発展につながっていくのではと感じました。

全国災害ボランティア議員連盟研修会

日時 令和7年6月4日(水)午前11時～午後4時まで

場所 衆議院第2議員会館 多目的会議室

研修内容

■地域防災力向上の調査・研究

「被災地および被災地復旧等活動報告」

能登半島地震対応についてーNPO 法人 V ネット理事長 川上 哲也
氏

- (1) 発災～現地調査・避難所支援等
- (2) 避難所へのお風呂設置運営事業
- (3) 避難所等への洗濯施設設置運営事業
- (4) 大切なもの探し事業
- (5) 大型入浴施設設置運営事業
- (6) 豪雨被災家屋保全と事業
- (7) 新聞報道
- (8) 自衛隊や自治体との連携強化
- (9) まとめとふりかえり

能登半島地震では発災の翌日より現地に入り輪島市に対する支援活動として大型入浴施設の設置運営、門前町内での洗濯施設設置の他、重機やチェーンソーを使い、被災された方の要請に応じて大切なものを取り出す活動等を行った。

お風呂や洗濯を何とか出来ないかとの市役所からの要望があり、

「うらかみ飛騨高山の湯」を作った時は涙を流して喜ぶ方が多数あり、「裸でお風呂の中で抱き合って喜んだよ」と話される方もありました。そのあと、大型入浴施設を二か所作ることになり毎日500人以上の方が入浴され、述べ10万人を超える数字となりました。危険な作業も続きましたが、大切なものを見つけ出せたときには涙を流して喜ばれました。

まだ、復興の道のりはとても長いと思います。今も、大変な毎日を過ごされている方もあります。そして地域としても人口減など様々な課題がつけつけられています。Vネットは、次の災害に備えるため、能登復興への思いはそのままに能登半島地震の支援活動は一旦終了させていただきます。

■災害対応について「令和6年能登半島地震を経験して」

奥能登広域圏事務組合 危機管理室 佐藤 令氏

- (1) 令和6年度能登半島地震による人的・建物被害の状況について
- (2) 発災直後・発災初期における被害情報の共有
- (3) 情報集約、市として情報共有が殆ど図れていなかった
- (4) 改善すべき事項◎災害対策本部宇運営の確立◎任務分担の明確化

(5) 孤立地域の解消◎孤立地域解消のためのチーム編成

★明確な任務付与

★状況の変化に応じた部隊等の態勢整理

★孤立化早期発見のための施策

(6)生活支援における役割分担・連携

★避難所運営、自主避難所運営

★物資輸送 自衛隊による物資輸送支援・民間企業による支援

★給食支援

★入浴支援 自衛隊・NPO 団体による入浴支援

改善すべき事項◎支援のあり方について◎自主防災組織等の活用

◎民間（NPO を含む）業務委託等

災害ボランティアの活動について、しっかりと拠点を通じて活動して頂く

<輪島市の活動状況>

○ボランティア受け入れ地点三か所（輪島・門前・町野）

○受付件数：一般ボランティア 4 6 0 0 件

技術系ボランティア 3 7 5 0 件

○主要な活動

一般ボランティア：宅内後片付け、側溝等の泥だし、瓦撤去

技術系ボランティア：重機による土砂等の処理、ブルーシート張り

●専門ボランティアによる支援

災害関連死を防ぐために多くの専門職の支援が必要である

■防災庁の設置について

我が国の防災体制の抜本的な強化に向けて令和8年度設置予定

◆大規模災害等のリスクと常に隣り合わせの日本である

◆地域の防災力低下、災害関連死リスク増加

大規模災害に立ち向かうために必要な機能

(1) 徹底的な事前防災～災害に対する弱点をあぶり出し対策を勧告～

(2) 発災・復旧・復興の災害対応を統括する司令塔～防災に関係する

多数の府省庁を統括～

☆内閣直下の防災庁の設置により、我が国の防災体制の抜本強化

が必要

☆南海トラフ地震のような国難レベルの災害は、被害が超大規模・広

域・複合的。東日本大震災に関して復興庁が担っている役割に相当

する業務を担う組織が必要。

感想：この奥能登地震災害では色々な対応が迫られた。一月元日という皆が新しい年を迎え新しい出発の時であったため、いつもと違う日であり、居場所も違った方がたくさんいらっしゃいましたので対応は本当に大変であったとお伺いいたしました。行政もなかなか動くことが出来ず戸惑いが多く、寒さにもあい、火事も大きな被害となった、日ごろの備えの大切さも痛感したとのことでした。私たちがこれから迎える南海トラフ地震への十分すぎるほどの備えの必要性、そして多くの訓練の大切さを改めて学ばせて頂きました

以上